

## 食品ロス削減ボランティア活動推進事業への質問に対する回答

NO.	資料名・ページ数等	質問内容	回答
1	仕様書 P1 5 (1) ① ア	・「活動隊のPRを積極的に行い」とありますが、PRするためのチラシなど広報に使えるものは何がありますか？ ・また「活動の場を創出」とありますが、年間何回活動の場の開催など目標数値はありますか？	・新たに啓発媒体（チラシ・WEBページなど）を作成いただきますが、素材の提供及びポータルサイト活動隊webページ（ <a href="https://www.osaka-foodlosszero.jp/katsudotai/about/index.html">https://www.osaka-foodlosszero.jp/katsudotai/about/index.html</a> ）へのリンク等の活用は可能です。 ・目標数値の指定はございませんが、できるだけ多くの「活動体の場」を創出できるよう努めてください。
2	仕様書 P1 5 (1) ① エ	活動隊に向けて意識の変化アンケートを行うのは年に1回でいいのでしょうか？比較対象にするための、過去のアンケート結果などはありますか？	回数の指定はございませんが、少なくとも1回は実施してください。また、過去のアンケート結果については別途提供いたします。
3	仕様書 P3 5 (2)	実践の場の会場費用は、事業者が負担となりますか。	費用負担は不要です。
4	仕様書 P3 5 (2) ① イ	検討会にファシリテーターの招聘とありますが、社内の人材が条件を満たす場合、ファシリテーターをしてもいいのでしょうか？	問題ございませんが、仕様書にお示しのとおり選定理由及びその根拠となる資料（実績など）をご提出ください。
5	仕様書 P3 5 (2) ① イ	検討会で実施するフィールドワークやワークショップが、活動隊員の養成講座の座学講習や体験実習と重複してもいいのでしょうか？	検討会で実施するフィールドワークやワークショップは、地域の事業者の実情（現状や課題）を知る機会となるため、座学講習として実施することは可能ですが、一方で、体験実習については、今後活動隊員が実際に活動する内容（出前講座や食料の仕分け作業など）を想定しているため、検討会で実施するフィールドワークやワークショップとは重複しないよう、別途ご準備ください。
6	仕様書 P3 5 (2) ③	実践の場の開催時期はいつでもいいのでしょうか？	現在令和7年2月の実施で調整しております。詳細な日程については、事業開始後の調整となります。
7	投影資料 「検討・実践の場におけるエリア内店舗との調整イメージ（案）」	「1,ショッピングモールと内容調整」内に、養成講座の講師や検討の場の記載がありますが、本内容をショッピングモールと内容調整する必要があるのはなぜなのでしょう？	あくまで調整イメージ（案）として提示したものであり、養成講座及び検討会をショッピングモール内で実施する場合は、内容調整する必要がありますが、ショッピングモール外で実施する場合は内容調整不要となります。